

事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3010回 例会2023.11.30 No.1670



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

I G M 例会

時間：18：30～

於：海老屋料理店

今年 5 月から新型コロナに対するいろいろな規制がなくなり日々の生活にも明るさが出てきました。こんな中恒例の「IGM」が本日開かれます。'23-'24 年度伊那 RC のテーマは会員同志が「お互いによく知ろう」としました。

そこで次のような 3 つのテーマを提案させていただきますので、グループ内で話し合いをされて一つでも二つでも全部でもよろしいと思いますので、いろいろな意見を頂きたいと思ひます。提案ですが今回は「ブレインストーミングのやり方」で進めて頂きたいのです。要はブレインストーミングの原則は、「質より量」「他の意見やアイデアを非難しない」「楽しく自由にアイデアを出す」となります。宜しくお願いします。

*テーマ①：「魅力ある地域づくり」

*テーマ②：「交通の利便性 UP」

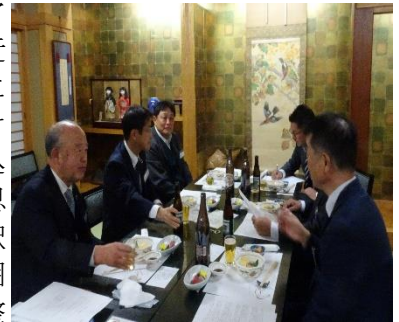
*テーマ③：「地域高校の魅力 UP」

A 班 ◎山田 益 ○三澤 聡 清水紀光
 赤羽弘之 飯島松一 吉田秀樹

テーマ① この地域は豊かな自然環境に恵まれているだけでなく、その特性を活かした農産物が豊富に生み出されている。また、有力な製造業を営む企業が数多く存在している他、大学等の学ぶ環境も整っている。そういった地域であることから、交流人口、関係人口が一定数いるはずであり、実際に移住・定住者は増えてきているし、女性が働きやすい地域であるように思う。

そういった環境でありながら、それらを活かす取り組みが弱いように感じられる。具体的には品質の良い農産物の販売方法を再検討することにより地域の自然環境をPRすることや、移住者、関係人口との交流の機会を設けることにより、生活環境も優れていることを発信することが大切ではないか。

テーマ② リニア新幹線の駅が身近に作られることになるが、それだけで経済効果が見込まれるとは到底思えない。例えば駅を利用できる範囲内に教育環境を整



えることにより、東京、名古屋からの移住者増加に繋げる等の取り組みが重要になる。この地域にとっては、なによりも先に道路整備、バスの定期便が重要なことだと思うが、日頃から交通渋滞で悩まされる箇所がある。

「伊那谷から渋滞を無くす！」をモットーに取り組んで行きましょう。

テーマ③ 長野県内の事例であるが、いわゆる進学校と中堅高校が合併したことにより、新高校の偏差値が低下してしまいました。その地域では子供を育てる家庭が移住してしまい人口の流出という問題が発生している。この地域でもそういったことに陥らないような対策を今から行っていく必要がある。

この地域には独特な取り組みを行っている、魅力ある小学校がいくつかある。その取り組みを参考にして、独自学科を創設し高校の魅力 UP に繋げることができれば良いと思う。日本は偏差値の高い学校に行くことが良しとされていて、多くの子供が大学に進学している。そうではなくて、大学に行かなくても、豊かな生活ができて、幸せな人生を送れるということが大事で、そのためには地域として教育・労働環境を整えることであつたり、大人たちの意識改革が必要になってくる。

伊那北駅前の開発プロジェクトがあるらしい

のですが、その中で高校生や若手社会人向けの寮を作って、外部から若い人を集めたり、交流できる環境を整えることができれば面白い。また家の利用もできればさらに良い。

B 班 ◎荒木康雄 ○山崎秀亮 中川博司 小林孝行 笠井俊朗 本島清隆

テーマ① 1. 伊那には着実に移住者が増加しており、その流れを活かすためには新たな働き先の整備が不可欠。



2. 移住者の受け入れにおいて、地域の利便性だけでなく、首都圏との連携や利便性向上が必要。

3. 地域内の魅力的な素材が豊富に存在している、これを活かした地域振興の方策が模索されました。例として、華麗高原などの美しい景観を生かし、スイスのようなトレッキングコースを整備・拡充するアイデアが浮かび上がりました。これにより、観光業の活性化と地域全体の魅力向上が期待されます。

4. また、地域の成長を支えるためには、工業のバックアップ先としての魅力も重要です。新たな企業誘致を促進し、地域の雇用機会や産業基盤の拡充を図ることが提案されました。

テーマ② 移住者の受け入れにおいて、地域の利便性だけでなく、首都圏との連携や利便性向上が必要。

テーマ③ 高校再編に伴い、専門性を強化する学科も必要。例えばプログラミング等に特化した学科や、伊那市出身の King Gnu を特任教授として迎え、学びの幅を拡げるなど。

C 班 ◎平出吉範 ○本田敏和 唐木一平 唐木章 藤本和寿 原年弘 唐澤幸利

テーマ① ・若者に移住してもらいたいのが、逆に高齢者が安心して楽しく暮らせる街にして、高齢者の移住を増やすのはどうか？



・若者が子育てなどを気にせず働ける街←高齢者の手を借りる。隣近所や町内の家庭が一緒になって子育てをしていた時代。

・農業分野では伊那の気候がブドウの栽培に適している

・伊那小学校に移住者が増えているが、小学校を卒業すると伊那中学校には行かずまた戻ってしまう。せっかく信州大学農学部があるので、小学校から大学までの道筋をつくったらどうか？

テーマ② ・日本の自動車メーカー各社が協力して交通情報の共有をしたらどうか？

- ・飯田線の複線化
- ・通勤ラッシュの解消
- ・全ての車の自動運転化

テーマ③ ①のテーマにも関連するが、小中高大と一貫校を作ったらどうか？

その他

- ・伊那市は程よい田舎（県外の方からの意見）
- ・3000m級の山々に囲まれた普段から見慣れたこの風景や魅力がたくさんあっても、この伊那谷に長く住んでいるとなかなか魅力に気づかない。地域おこし協力隊のような移住者から見た目で魅力を発信してもらってはどうか？

D 班 ◎小河節郎 ○唐澤洋祐 藤澤洋二 小林旬子 小松肇彦 八木沢真

テーマ① 1. 伊那小、伊那西小のような教育が資源となる。ただし、「教育移住」という観点で言えば、住宅用の賃貸物件が少ないという問題があるので、その解消が課題となる。



2. 将来の米不足を考えて、農業に対する補助等が必要。

3. 地域としての魅力づくりに関連して、地域の雇用創出や人手不足の解消も課題になる。

4. 伊那市内の空き店舗・空きテナントを活用することが課題。

テーマ② 1. 信号機の AI 画像処理は導入して欲しい。

2. 特急しなのを、木曾を通すのではなく、飯田線に通すことはできないか。

3. 三遠南信自動車道がもう少しで開通するため、物流が盛んになることが期待され、工業団地の誘致が促進される可能性がある。

4. タクシーの運転手不足の解消として、女性ドライバーの活用が考えられる。

テーマ③ 1. 信州豊南短期大学の活用。

2. 伊那西高校が頑張っているのも、何か応援出来ると良い。

3. 長野市に長野県関係の施設が多すぎるので、信州大学で新しい学部を新設するのであれば、ぜひ、飯田等の南信に持ってきてほしい。